

～三陸沿岸地域における簡易的な観光調査手法の構築～

平成28年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

課題名：三陸沿岸地域における簡易的な観光調査手法の構築

研究代表者：総合政策学部 講師 金澤悠介

課題提案者：岩手県政策地域部地域振興室 滝澤裕司

研究メンバー：新田義修(総合政策学部・准教授)

技術キーワード：観光、社会調査、公的統計の活用

▼研究の概要(背景・目標)

- ・ ある程度の精度をもちながら、低コストで実施できる調査方法の提案
- ・ 調査コストを高騰させる要因を特定した上で、公的統計の分析をもとに、そのコストを低減させる具体的方針を提示

▼研究の内容(方法・経過)

1. 調査対象:三陸沿岸地域
2. 分析方針
 - 調査地点と調査時点の選定
 - ✓ 公的統計(表1)をもとに、観光客の訪問パターンと観光産業の特徴を抽出
 - ✓ 三陸沿岸地域の観光状況を代表する地点と時点を選定

▼研究の成果(結論・考察)

- 調査地点の選定(表2)
宮古市・大船渡市・久慈市は三陸沿岸地域に訪れる観光客の大部分が集中している点で、調査地点として好適
- 調査時点の選定(図1)
4月から9月にかけて観光客入込数が多い点で、調査時点として好適

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

- ◆ 三陸沿岸地域の観光状況を代表するようなかたちで観光調査を行いたいのであれば、(i)宮古市・大船渡市・久慈市の3都市を対象に、(ii)4月から9月にかけて開催される観光イベントをいくつか選定して調査を行なうことが効率的
- ◆ 政府や県が実施している公的統計の結果を適切に用いることで、さまざまな調査をある程度の精度をもちながら、低コストで実施することが可能

表1 使用した統計

使用した統計指標	出典
観光客の市町村別・月別入り込み数	岩手県観光統計概要(H25-27)
人口数	2015年国勢調査
就業者に占める観光産業就業者の割合	2015年国勢調査
就業者に占める第一次産業就業者の割合	2015年国勢調査
就業者に占める第二次産業就業者の割合	2015年国勢調査

表2 統計分析の結果

	グループⅠ	グループⅡ	グループⅢ	グループⅣ
自治体	宮古市・大船渡市・久慈市	陸前高田市・釜石市	住田町・山田町・普代村・野田村・洋野町	岩泉町・田野畑村
1年間の観光客数の平均値	1,086,534	329,170	299,695	475,626
沿岸地域を訪れた観光客に占めるシェア	51%	10%	24%	15%
観光関連産業就業者割合	26%	24%	21%	19%

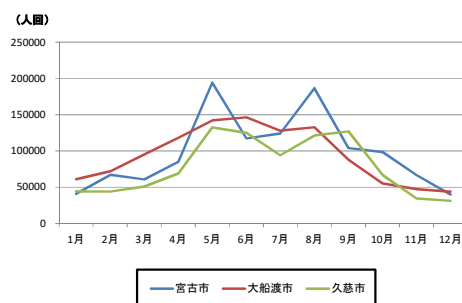


図1 宮古市・大船渡市・久慈市の月別観光入込数